



**アービタックス療法
を受けられる患者さんへ**

治療薬

アービタックス注（セツキシマブ）

- がん細胞の増殖に関連する因子（EGFR：上皮細胞増殖因子受容体）を阻害することにより、がん細胞の増殖や分化を抑えます。

治療スケジュール

薬	日にち	day1	day8
アービタックス注		●	●

1週間毎

点滴スケジュール

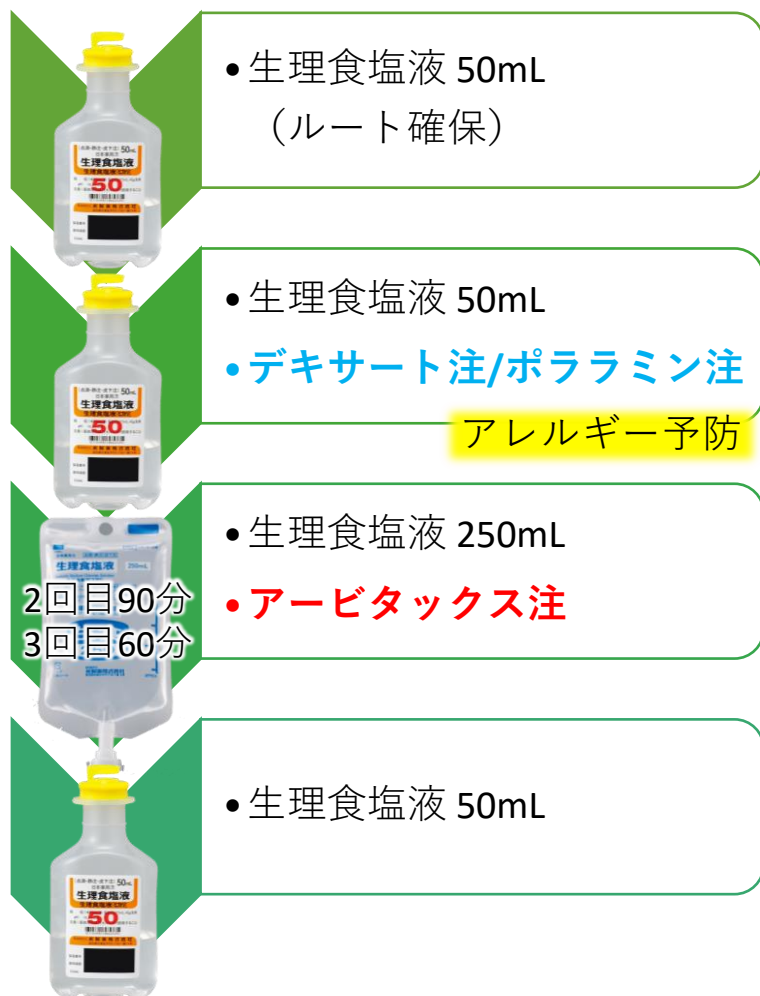
初回投与時



点滴部位の痛みや腫れ、点滴が落ちにくい等あれば、すぐにナースコールしてください。
点滴の時間はおよその時間です。
多少前後する場合があります。

点滴スケジュール

2回目以降



アービタックス注（セツキシマブ）

◆ はたらき

アービタックス（セツキシマブ）は、がん細胞にあるEGFRを抑えてがん細胞が増えるスイッチを止めることで、がん細胞の増殖を抑えます。

EGFR(上皮細胞増殖因子受容体)：

細胞の表面に並んでいるタンパク質で、細胞が増える時のスイッチの役割を担っています。がん細胞には非常に多くのEGFRがあり、がん細胞が増えるような信号を送り続けています。

◆ 主な副作用

✓ アレルギー反応（Infusion reaction）

薬剤投与中または投与後数時間で息苦しい、汗が出る、顔がほてる、胸が痛い、心臓がドキドキするといった症状が現れることがあります。症状を感じた場合はすぐに医療スタッフに連絡してください。

● 注意すべき症状



◆ 主な副作用

✓ 皮膚症状（ニキビのような発疹、皮膚乾燥、かゆみ等）

皮膚の細胞のEGFRも抑えるために、にきびのような発疹、皮膚の乾燥・炎症などが起こることがあります。

投与1週間後から症状が発現し、特に顔や胸、背中、腕に症状が出やすいとされています。日頃からスキンケアや症状に応じた薬で対応しながら治療を続けていきます。

✓ 間質性肺炎

空咳、息苦しさ、息切れ、発熱等の風邪のような症状が出たときは、すぐに医師に連絡してください。

自己判断で市販の風邪薬等を服用しないでください。

✓ 下痢

治療中に下痢が起こることがあります。下痢による脱水症状を防ぐため、十分な水分補給を行いましょう。

✓ 粘膜炎（口内炎）

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ヒリヒリする、赤くなるといった症状が出ることがあります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

✓ 電解質異常

からだの中の電解質のバランスが崩れることで低マグネシウム血症が現れることがあります。定期的に血液検査で確認します。



MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

大阪国際がんセンター

〒541-8567

大阪府大阪市中央区大手前3-1-69

 06-6945-1181

The background of the page is a large, abstract graphic consisting of several thick, flowing, and overlapping curved lines. These lines are primarily in shades of green and yellow, with some areas showing a gradient from light green to a darker teal. The lines swirl in a clockwise direction, creating a sense of movement and energy. The overall effect is a modern, organic, and vibrant design.

Osaka International Cancer Institute